

医療・介護における腰痛関連課題調査2026 ご協力のお願い

日本ノーリフト協会は、2009年に日本で初めて医療や介護職の腰痛予防対策「ノーリフト®」を紹介しました。2012年には約7,000名の腰痛関連調査を実施し、80%以上の看護師や介護職が「この仕事に就いてから腰痛を経験している」ことが明らかになりました。

前回調査より13年が経ち、改めて医療・介護現場における腰痛の実態、及び腰痛予防対策の現状を明らかにすることを目的に、大規模調査を実施することにしました。

「医療・介護に伴う労働負担の軽減を図ることが、ケアの質や働く環境の改善につながる」という視点に立ち、各組織への報告や連携を図り、医療・介護における腰痛予防対策をより推進していきたいと考えております。

なお、本調査は、施設関係者様の費用負担は一切ございません。

また、調査後にご登録いただいた法人/施設ごとにデータを返却いたします。是非、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

※個人会員単独での参加はできません。調査への参加を希望される場合は、所属施設の管理者を通じてお申し込みください。その際、当協会にご登録の会員様のお名前をあわせてご連絡ください。

調査実施予定期間 配布時から 1ヶ月【要相談】

調査項目

基本情報・腰痛実態	働き方・ケアについて	福祉機器情報
<ul style="list-style-type: none"> 性別 年代 保有資格 役職、勤務形態 (正社員・夜勤の有無など) 残業時間 腰痛 (腰痛の有無・程度、腰痛歴) 運動状況 睡眠状況 疲労程度 	<ul style="list-style-type: none"> 精神的、身体的負担のある作業 移乗について (対象者の最大体重、介助者数) 入浴介助について 腰痛予防に関する教育について 腰痛予防対策指針の認識度合い 	<ul style="list-style-type: none"> 移乗リフトの活用情報 ロボットや福祉用具の活用情報 (電動ベッド、スライディングシートなど)

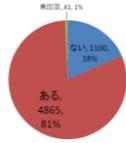
※個人情報保護の観点から、個人の特定ができない無記名自記式調査となります。

調査結果の例

※2012年調査結果より抜粋

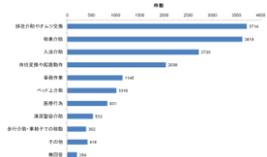
職員様の腰痛状況・負担の見える化

Q.現在、腰痛はありますか？



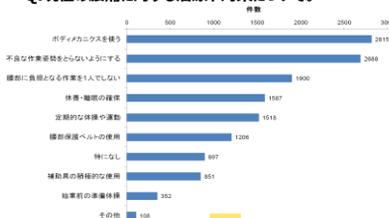
職員様の腰痛状況や負担に感じている業務を把握し対策を検討。

Q.身体負担の大きい作業を選択ください。



対策・改善方法の見直し

Q.現在の腰痛に対する治療や対策について。



現状の対策を把握し、改善方法の見直しを図る。

詳細につきましては、下記別紙をご参照ください。

別紙1【管理者様向け】概要/手順書

別紙2【職員様向け】回答のお願い



お問合せはこちら | (一社)日本ノーリフト協会事務局

✉ noliftcare@gmail.com

☎ 078-862-8503

🌐 ホームページはこちら

<https://www.nolift.jp/>

窓口対応時間：平日10:00～17:00 ※時間外のお問い合わせは、メールにてご連絡ください。

